

令和6年度 認定こども園の自己評価

社会福祉法人みどり福社会 みどり認定こども園

「認定こども園は、保育・教育の質の向上を図る為、保育・教育の計画の展開や保育教諭等の自己評価結果を踏まえ、当該こども園の保育・教育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない。」と保育指針に明記されています。当法人では、このことに基づいて検討し、こども園（組織）としての自己評価について、評価の項目、視点、方法および評価結果の示し方等について標準的な様式として作成いたしました。

<評価について>

・A、B、C、Dの4段階評価をし、
該当する欄に○をつける。

A：たいへんよい
B：よい
C：一部検討する
D：改善を要する

項目

◎ 保育・教育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育・教育目標について	① 保育・教育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				目標について前年度の反省を丁寧に見直し、全職員で課題を共通理解しながら考えていく。また、子ども達が健全な心身と考える力を育てることができるよう、園全体で実践に努めていきたい。
	② 目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。		○			
	③ 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	④ 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育・教育について	① 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				指導計画は、子どもの実態に応じて年間計画を立案し、月・週案はその都度ねらいに沿って作成して子どもの成長につながるようにした。
	② 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	③ 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	④ 評価結果を基に、保育・教育の改善に努めているか。		○			
日時程	① 一日の流れ（デイリープログラム等）は現行でよいか。		○			その時の状況、個々の発達に応じた配慮を行なう。
行事について	① 行事の種類や実施回数は適切か。			○		保護者からの声を聞きながら、その都度検討し、要望に応えられるよう、行事の見直しを行なっていく。
	② 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			
	③ 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				
	④ 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			

項目	内 容	評 価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経 営 ・ 組 織	分 掌 ・ 体 制	① 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			クラスの仕事だけではなく、気付きを大切にしながら他のクラスや園全体のことなど、協力する体制作りに努めた。
		② 職員の配置は適材・適所か。	○				
		③ 係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○			
	運 営	① 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○				毎月の職員会でひとり1人に成長に合わせた保育、教育ができるよう記録した。研修会に参加した職員が報告する場を設け、学んだことを園全体で共有できるようにしていった。
		② 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○				
	年 齢 別 ・ ク ラ ス 経 営	① 年齢別・クラス目標は、保育・教育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				クラスや学年、また園全体で子どもの姿について話し合う機会を多く持ちその都度必要な手立てや環境構成はどうかを検討しながら援助・支援を行なった。
		② 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				
		③ 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○			
		④ 評価、資料（諸記録）を集積しているか。		○			
	保 健 ・ 安 全 指 導	① 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○			各クラスを自由に行き来しながら異年齢交流を楽しむ中で、子ども達の遊びにも変化が見られた。保育の記録を見ながら改善点を話し合い、次の保育や活動へつなげるようにしていく。
		② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				
		③ 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成の為家庭への啓発を行っているか。	○				
	情 報 に つ い て	① 乳幼児や保護者に関する個人情報을適正に取り扱っているか。	○				個人情報の守秘義務を遵守し、書類の取り扱いや管理・処理を的確に行なった。
		② 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○				
	施 設 ・ 設 備	① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				安全点検を月2回職員2人で行ない、安全を確認していった。不審者に対しては、防犯カメラの4か所設置や避難訓練にて、安全確保に努める。コードモンや掲示板を利用して、連絡事項や感染症、日頃の活動について確認、紹介している。
② 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。		○					
③ 不審者等に対する周到な配慮を行っているか。			○				
④ 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。			○				

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
開 か れ た こ ど も 園	施設間交流・連携	① 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるな配慮や援助・支援を行っているか。		○		同じ福祉会の園同士での交流の中で、子どもたちの遊びの中での関係性が見られた。幼保こ小の架け橋プログラムが始まった。以前も授業を見に行く機会があったが、小学校との交流の中で、お互いを訪問したり、情報交換などこれまで以上に連携を取りながら、スムーズに小学校へ移行できるように努めたい。
	② 参観や保育・授業等に参加するなどして、小学校等の教育を理解しているか。			○		
	③ 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。			○		
家 庭 と の 連 携 ・ 地 域 社 会	① 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○		豆まきなど地域の方とのふれあいに子ども達が参加でき、よい交流ができた。また、地域へ散歩に出掛けて四季を感じたり、地域の方と話をしたりした。	
	② 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○			
	③ (乳) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
	④ 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			
子 育 て 支 援 の 推 進	① 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育質等を開放しているか。		○		市で行われている子育て支援を受け入れ、未就園児の親子に保育や活動を体験してもらった。離乳食や子育て等の情報交換を行なった。園庭解放を計画し、参加を呼びかけた。市の行っている親子教室に職員がスタッフとして入り、子育て機関との連携をとっていた。	
	② 地域に住む子ども同士、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。		○			
	③ 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○			
	④ 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
	⑤ 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
情 報 の 発 信	① 保育所だより・クラス便り、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○			園だよりやクラスだよりを毎月発行している。日頃の活動の様子を掲示板やコドモン、インスタグラムで伝えている。	
	② 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○			
外 部 評 価	① 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。			○	保護者の意見など、施設運営に反映してるが、第三者評価は、今後導入も検討している。	
	② 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			